

2017年11月28日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 474

専門職高等教育の創設と今後の進路

～制度設計／設置認可審査／質保証／vs. 学術型大学～

12月21日〈木〉開催

ご参画・ご派遣のお願い

新たな高等教育機関が創設され、2019年4月には「専門職大学」等が創設される運びとなりました。1950年4月に発足した「短期大学」から、実に69年振りの新大学種の誕生となります。今月末が認可申請の締め切りですので、12月初めには、申請状況等が公表されます。また、大学・短期大学における「専門職学科」に係る設置基準も12月中には公布される見直しです。

本セミナーでは、この新大学制度について、制度設計・設置認可審査・質保証及び職業型大学の4つの視点から、4人のコアパーソン氏をお招きし、今後の専門職高等教育パラダイムの明確化を企図しました。

まず、文科省の塩原誠志氏からは、新制度創設の趣旨・背景、制度化の経緯、専門職大学・同短期大学及び専門職学科の制度設計の要点、そして、今後の制度施行について、ご報告いただきます。

次に、麻生亘氏（文科省）からは、大学設置分科会の体制と審査のポイント、専門職大学等の申請書類作成の留意事項等について、ご解説いただきます。

川口昭彦氏（大学改革支援・学位授与機構）からは、長年にわたり高等教育の質保証分野をリードされてきた立場から、高等教育のパラダイム・シフト、専門職・分野別高等教育の質保証のあり方について論展いただきます。

最後に、吉本圭一氏（九州大学）からは、学術型大学と専門職大学の分化・統合のパラダイムについて、欧米・韓国等の海外動向を踏まえ、特に、学位と職業資格の接点である“NQF”の日本での取組みと展開方向を論展いただきます。